

**福祉推進委員  
「役員研修」開催！**  
先進地（豊川市社協）視察

9月26日(木)に福祉推進委員の役員研修として愛知県豊川市社会福祉協議会（以下、豊川市社協）を視察しました。（役員7名参加）

最初に豊川市社協東部地域福祉センター・鳥山主査から「豊川市及び社協の概要」について、社会福祉士の安田さんより「豊川市における地域支援」について説明を受けました。

（豊川市の概況：人口八三、九三〇人、高齢化率二五・七％）

合併を機に介護保険事業を廃止し、市より包括支援センター《名称「高齢者相談センター」》（市内9か所）を受託しCSW※1名を配置し、地



鳥山主査より豊川市社協の概要説明



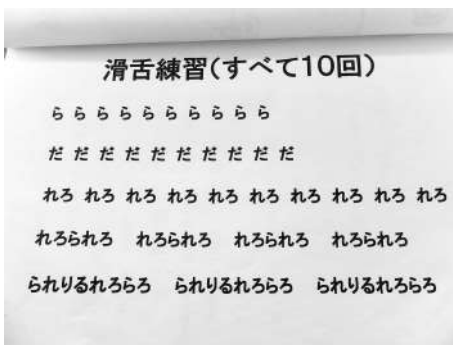
金屋地区 金澤委員長より「サロンあいあい」の活動紹介



金屋地区「サロンあいあい」を視察



参加者で定例プログラム実施



定例プログラムの一部

域に密着した地域支援を展開。住民同士の助け合いとして「地域福祉活動推進委員会」を組織され、連区と呼ばれる小学校区で地域課題を住民が共有し、地域をあげて取り組む組織として機能しており、主な活動はサロンと見守り支え合い活動。（サロン活動は市内で一五〇か所。）

その後の情報交換及び質疑応答では、活発な意見が飛び交い日頃活動されているの悩み等を尋ねたりして情報共有を図ることができました。

続いて、金屋地区地域福祉活動推進委員会の金澤委員長より金屋地区の「サロンあいあい」の活動状況の説明があり、午後から金屋地区の「サロンあいあい」を視察しました。

福祉委員さんの主導による口腔体操などの介護予防の定例プログラムの様子や、この日のメインメニューの「ディスゲッター」と呼ばれるフリスビーを使った的あてゲームを見

学しました。

金屋地区のサロンのスタッフは、福祉委員が中心となっており、地域での「顔の見える関係づくり」を構築して福祉力アップにつなげているそうです。

視察研修後、役員さんからは「刺激になったし自分達の地域と比較することができて参考になった、ぜひ日頃の活動に生かしたい」との声が聞かれ有意義な研修となりました。

※CSW：援護を必要とする高齢者や障害者、子育て中の親などに対して、見守りや課題の発見、相談援助、必要なサービスや専門機関へのつなぎをするなど、要援護者の課題を解決するために支援する者



今日のメイン「ディスゲッター」。柔らかいフリスビーを的に向かって投げます。皆さん楽しく盛り上がってました。